

## 第 15 回（令和 2 年度第 1 回）学校運営協議会議事録（書面開催）

### 【委員】

- 倉岡 正高 （地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所研究員）
- 飯島 正徳 （東京都市大学知識工学部教授）
- 鈴木 秀征 （本校 P T A 会長）
- 福田 晴好 （翔凜高等学校特別講師）
- 鈴木 秀幸 （地域関係者）
- 田中 多恵 （NPO 法人 ETIC. 横浜ランチマネージャー）
- 内川 隆 （本校同窓会長）
- 石井 廣康 （横浜市資源循環局青葉事務所所長）
- 竹下 恭子 （横浜市立市ケ尾中学校長）
- 瀬高真一郎 （本校校長）

### 1 報告事項《○委員、●学校》

#### （1）令和 2 年度学校運営協議会について

- 参考ですが、次回には収束しているとは思いますが、WEB 会議の開催も今後検討してください。
- 次回からWEB 会議の開催を検討いたします。
- 次回が 10 月ということですからかなり時間が空いてしまいますので、公式なものでもお話できる機会があると良いと思います。
- 臨時休業が終了後に、調整させていただきます。
- 本年度の予定については、令和元年度に 5 回から 4 回に会議数を削減したことが特に評価部会の進行に影響を与えたと考えます。また、新教育計画の議論が深まらないまま、3 月及び 5 月の書面開催、その後の 10 月 31 日開催予定は、既に新教育計画が実質 7 か月経過することを考慮すると、一昨年度まで開催していた 7 月中の 1 回開催することを要望します。
- 臨時休業終了後に、年間行事予定等を再編成しますので、それに併せて検討します。

#### （2）学校からの報告事項

- 遠隔授業のための環境整備は早急に対応したほうが良いと思う。また、この項目が適当かわかりませんが、生徒及び教職員の心のケアについてはどのように対応しているか？大学でも同じ問題があるが、学習状況と表裏一体のもので、生徒からの相談受付についての取組みについて記述があるとよいと思います。

- 遠隔授業のための環境整備は、早急に進めています。また、生徒の心のケア等については、遠隔ではなく登校の機会を設け、対面での指導・支援を行うこととしています。
- 異例づくしの状況のなかでの様々なご対応に感謝いたします。ご考慮いただいているとは思いますが、私が気になっている点は以下です。
  - ・各家庭における遠隔学習環境に問題は生じていないか
  - ・部活動でのやりがいを消失した生徒へのフォロー
- 現在、公費によりすべての生徒の学習環境の整備を進めることなどを盛り込んだ県教育委員会の示す方針に沿って、遠隔授業のための環境整備を早急に進めています。本校では5月の第4週までに、Wi-Fi環境のないご家庭への対応が終了する予定です。また、部活動の部員に対する指導・支援については、臨時休業が終了してから、方法を検討し対応する予定です。
- 部活動等の活動自粛や大会中止等で、目標を見失って喪失感のある高校生も多いのではないかと思います。三密の状況を避けて参加できる外部機会の紹介等、新たな目標づくりや生徒のモチベーション向上につながるようなコミュニケーションの充実が必要だと感じました。
- 臨時休業が終了後に、よりよい形の指導を模索していきたいと思えます。
- 例年とは全く異なる状況で対応に苦労されていると思えます。今後の状況にかかわらず遠隔学習などの柔軟な教育環境づくりをしていくべきだと考えます。
- 現在、公費によりすべての生徒の学習環境の整備を進めることなどを盛り込んだ県教育委員会の示す方針に沿って、遠隔授業のための環境整備を早急に進めています。本校では5月の第4週までに、Wi-Fi環境のないご家庭への対応が終了する予定です。柔軟な教育環境づくりは、今後の大きな課題であると認識をしておき、検討していきたいと思えます。
- 新型コロナの関係でも遠隔学習支援プログラムの活用は必要なので、環境のない人たちへの支援を今後もさらに拡充してもらいたいと考えます。
- 当面の対応が完了した後に、必要に応じて県教育委員会に要望していきたいと思えます。
- 「2 家庭学習について」：予算を各学校に計上したというのは、現状Wi-Fiが配られているのかいないのか？また、本校においてはどの程度の割合がそのような環境下であり、どの程度まで予算でカバー出来たのか？出来るのか？ということを質問します。
- 県教委からの予算は、現時点で自宅にWi-Fi環境がない生徒に対して、ルーター

を貸与するためのものです。本校は14名が対象で、予算は全額が県から配当されカバーできています。5月の第4週までに、Wi-Fi環境のないご家庭への対応が終了する予定です。

### (3) 本校の学校運営協議会からの意見申出に対する回答について

- ぜひ進めてください。
- 引き続き必要な対応をお願いします。
- 県教育委員会との継続したやりとりをお願いいたします。本校に限った話ではないと思いますので、他校を含めた多くの声を集めることで動きが加速するのであれば、そのような方法もあるのかなと思いました。
- 生徒の安全・安心な学校生活に向けて、今後も検討していきます。
- 防犯カメラについては具体化をよろしくお願い致します。学校運営協議会としてこれからも様々な問題に対して積極的に意見し学校改善をしていきたいと思えます。
- 今後も引き続きよろしくお願い致します。
- 防犯カメラの追加設置については抑止力に繋がるので是非進めて欲しい。なお、生徒育成面での指導を強化することも必要だと考えます。
- 生徒に対する指導においても、今後検討していきたいと思えます。

## 2 協議事項《○委員、●学校》

### (1) 学校教育計画及び学校目標等について

- 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、難しいところもあると思いますが、できる限り目標を達成できるようにお願いします。
- 別紙4に関連して以下コメントします。
  - ①「学校のミッション」は学校の使命・存在理由を記す欄の筈なので「学校教育目標」と中身をそのまま入れ替えた方が良いのでは？
  - ②その上で、■の部分、「ビジョン」として冒頭に掲げ、以下4点を記載するのはいかが。ただ、4番目の「すべての人が学び活躍できる云々」が漠としておりもう少し具体的表現にしては？
  - ③「学校のミッション」の中での記載項目が網羅的で細かすぎる印象。例えば、「○学年制によるカリキュラム・マネジメントへの学校全体での取り組み」とか「○県教育委員会との密なる連携による云々」などは必要ですか
  - ④敢えて付け加えれば、「学校のミッション」の項目は第2回協議会資料P20に

ある「キーワード、具体的取り組み」と連動させた方が繋がり、一貫性が出るのでは。スペースの関係で項目を厳選する作業が必要でしょうが・・・

- 「学校のミッション」については、県教育委員会教育長名で各学校長に対して与えられているもので、この文章はそれを箇条書きにしたものです。委員ご指摘の内容については、目標や具体的な手立てなどに盛り込みつつ実現につなげます。また、別紙4の県教育委員会への提出書類については、様式が決められています。「2 学校教育目標」については、学校要覧等で詳細に記載をする予定です。

- 今回の緊急事態宣言により、より長期の休業が余儀なくされたわけですが、この間高校に限らず生徒の立場においては、最も不利益を受けたのではないのでしょうか。以前からオンライン授業等の計画はあったかとは思いますが、今後も様々な事態を勘案し、円滑にオンライン授業に移行できる環境整備が必要かと考えます。まず、入学当時からの生徒に対するインターネット環境の調査をする等して現状を把握し、それに基づいた計画を策定する必要があると思います。

また生徒自身にもこのような事態になったときに、自分自身はもちろんのこと、学校や自宅周辺での実態や対応等も考えさせることも良い機会であり、これからの日本を背負って立つ若者に自ら考えさせる機会を与える等も良いのかと思います。同じ生徒の立場として考えさせられました。学習の場がなければ目標は達成できないと考えます。

- 次年度へ向けて検討させていただきます。今後は、各ご家庭の様々な状況や価値観などを踏まえつつ、ピンチをチャンスに変えることを教育活動に加える工夫をしたいきたいと思います。

- 昨年度まで「市ヶ尾ユースプロジェクト」において、地域、区役所、NPO 法人と連携し、さまざまな社会貢献の取組を行ってきたと伺っております。プロジェクトは終了しましたが、違った形での地域や社会貢献を「1 教育課程・学習指導（総合的な学習の時間など）」または「4 地域等との協働」等に盛り込めるとよいのではと思います。今年度は、どこまで活動ができる状況になるのか不透明ですが、本校でも現状に即して模索をしているところです。

- 「市ヶ尾ユースプロジェクト」に代わる事業については、このような状況になってしまったことで、関係機関との連絡調整ができていない状況です。本校も、生徒が社会の一員としての資質や意識の向上を目指し、今後の地域連携の在り方を研究していきますので、ご協力をお願いします。

- 計画策定時点の課題の2点目、「生徒たちが自己肯定感を高め、生き方を自ら探求する姿勢につなげること」は、きわめて重要な観点だと思いました。そのために、

総合的な探究の時間等を中心に教科学習においても、

- ①自ら課題を設定し、道筋を立てて探究し（できれば真剣にその課題に向き合い）、その結果に対する真摯なフィードバックがもらえる取組を充実させる。
- ②多様な価値観や考えを知ったうえで、自分の考えをまとめ発信するアウトプットの機会を設計する。ことが重要だと思います。

例年よりも制約の多い中での学事歴になるとと思いますが、それゆえに改革や効率化も理解を得られやすいと思いますので、先生方には失敗を恐れずあらゆる改革に取り組んでいただければと思います。

- その通りだと思います。新たな発想を出し合い工夫しながら、現状での適切な教育活動を推進していきたいと思います。
- 生徒や保護者が学校に何を期待しているのかという視点も必要だと思います。別紙5の取組の内容の中に「国や県の動向を踏まえ・・・」というのが何度もありますがこれは全て削除した方がすっきりしてわかりやすいと思います。[具体的な方策]の中で「外部の機関」「地域防災」などは具体的な感じがしません。学校管理・学校運営のところ①「・・・会議の充実を図る」と②「長時間勤務を是正する・・・」は両立できるのでしょうか？ 長時間勤務の主因が会議と書類作成という印象ですが。部活指導についても考えるべきだと思います。
- 「国や県の動向を踏まえ」という文言については、教育活動の大きな柱の部分は、文部科学省や県教育委員会等の指導・指示のもとに推進していかざるを得ないということで入れています。委員ご指摘のとおり、本来ならば冠する文言ではありません。しかしながら、今年度に関しましてはコロナ禍の影響でやむを得ないこととは言え、先が見えない中で、学校の教育活動も相当部分が行政的な制約を受けざるを得ないということ、自戒的に認識して学校運営に向き合うという意味を込めて、記載させていただきました。

「外部の機関」「地域防災」については、新たな地域等との協働を研究するうえで、大きな枠組みとして考えています。「会議等の充実を図る」と「長時間勤務を是正する」の両立については、「働き方改革」の推進における長時間労働を是正することを大前提としたうえで、効率的な会議、研修等を設定することが重要です。そのために、会議等の必要性を十分検討するとともに、資料の厳選及び事前配付など会議等の設定方法を工夫し、効率的な運用に努めることを検討していきます。

また、部活動については、適切な休養日の設定（週当たり平日1日以上、週休日1日以上）の休養日の設定、顧問の複数名配置、外部指導者の活用を通して、教職員の定時退庁日の確保に努めていきます。

- ①一般的にミッションと言われるものに該当しないものが入っている印象です。存在価値とは何かという観点で考えると、こういう人材を作るというのが学校のミッションに近いものかと思いますが、列挙されている多くが手法であって、本来はもっと下位の項目で示される内容ではないでしょうか？本来一番抽象度が高い項目だと思います。
- ②「2 学校教育目標」の『自ら誇りを持って・・・』の育成」この1文がミッションですか。
- ③「3 計画策定時点での課題」このセクションは市ケ尾高校というフレーズが多く使われていますが、全ては市ケ尾高校のことなのでなくてもいいように思います。
- ④「3 計画策定時点での課題」明確化が図られたではなく、何が明確になったかを記述する必要がある。そして、その内容はミッションや教育目標と連動したものでないといけないと思います。
- ⑤何かの言及がないので、「これら」の指すものがわかりません。
- ⑥(3)進路指導力の向上の必要性和、生徒の自己肯定感の関連性がわかりにくいので、つなげるよりは分けて記述するか、関係性を明確にして下さい。
- ①「学校のミッション」については、県教育委員会教育長名で各学校長に対して与えられているもので、この文章はそれを箇条書きにしたものです。
- ②これは4年間の学校教育目標です。
- ③④⑤⑥「3 計画策定時点での課題」については、修正します。